

めざすは高いレベルの文武両道

「昭和リバイバルプラン」がさらに加速する

注目ポイント

- 1 「チーム昭和」を合言葉とした教育改革で大躍進を図る。
- 2 世界にはばたく人材の育成を目指し、英語学習がさらに充実。
- 3 難関大学合格者数アップに向け、懇切丁寧な学習指導を実践。

新入試制度によって 新しいタイプの生徒を発掘

インターハイをはじめ、全国レベルの各種大会で活躍するスポーツ強豪校としても知られる昭和学院。同校の大井俊博校長は「これからはさらに高いレベルの『文武両道』を實踐していきたい」と力強く語る。前任校の東京都立両国高等学校・附属中学校で難関大学合格者数を伸ばした実績を持つ大井校長。その経験を生かし、昭和学院中高の校長に就任した平成28年度にスタートさせた3カ年の学校改革計画「昭和リバイバルプラン」は校内で着実に浸透し、今後の躍進が大いに期待できる。

平成29年度入試からは「マイプレゼンテーション入試」を導入。「学生センター」を導入。センターでは計れないようなストロングポイントを持つ生徒を発掘したい」と、大井校長。生徒同士が刺激し合い、学校全体を底上げさせていくことが狙いだ。同校が推進するアクティブラーニング型学習のリーダー的存在になることも期待されている。大井校長の言葉どおり、この入試には実に多様なタイプの受験生が集まる。千葉工業大学監修のロボット教室に通っていたという受験生は自作のロボットのプログラミングについて紹介。ほかにも楽器演奏やダンス、空手など、まさに十人十色のプレゼンテーションが行われ、面接官を務めた教員を驚かせた。

自然とやる気を引き出すための工夫を凝らした英語教育

それぞれの得意分野を伸ばすように切磋琢磨して個々の潜在能力をさらに引き出し、それを世界のどこでも発揮できるようにするために、同校では英語運用力アップにも注力する。その3年間の取り組みとして、中1の英語科ではチーム・ティ



メディアセンターは同校のアクティブラーニングの中心

ミングによるアクティブラーニング型のオールイングリッシュの授業を展開。生徒が能動的に授業に臨み、楽しみながら学び合う雰囲気にもつながっている。

中2ではそれまでに習得した英語力を試すために、実践の機会が用意されている。国内での2泊3日のイングリッシュ・キャンプでたつぷりと英語のシャワーを浴びるのだ。大井校長はこの取り組みの効果について、「失敗してもいいのです。『もっと英語が話せるようになりたい』という思いがその後の学ぶモチベーションになる」と語る。

そして中3では、中学英語の集大成として中3生全員を対象としたオーストラリアでの海外語学研修を実施。学校だけでなく、現地での生活をフル活用して語学力アップを図るために、全員が滞在先に同年代の子どもがいる家庭にホームステイする

など、英語を習得しやすい環境が整えられている。また語学のレッスン以外に、現地の高校の授業を体験したり、大学を見学したりと、海外大学進学への啓発にもつなげていく。

先取り学習よりも反復学習 基礎・基本を徹底的に身につける

英語科はもちろんのこと、苦手意識をつくらずに高校への学びにつなげていくために、中学段階では全教科で基礎・基本をしっかり身につけることをめざしている。「生徒には高い志を持ってもらい、真に進みたい大学で学んでほしい。そのためには中学からの積み重ねが不可欠」と、大井校長。放課後や長期休業中には補習によるサポートも積極的に行っており、教員が一丸となって生徒の文武両道の実現に向けて強力にバックアップしている。

「昭和リバイバルプラン」では、国立公立大学15名以上、早慶上理・ICU20名以上の合格者を輩出することを目標の一つとして掲げている。近い将来、必ずや達成されるに違いない。



広大なキャンパスの様子

SCHOOL DATA

- 設立 1940年
- 併設校 昭和学院幼稚園、昭和学院小学校、昭和学院高等学校、昭和学院秀英中学校・高等学校、昭和学院短期大学(1年)127名
- 生徒数 30~35名
- クラス編成 30~35名
- 男女比 男40% 女60%
- 授業時間 8:35~15:00 (土)~12:25

- 海外交流校 無
- 帰国生入試 有
- 交通 本八幡駅(JR総武線、都営新宿線)徒歩約15分、京成八幡駅(京成本線)徒歩15分、またはバス約5分、市川大野駅(JR武蔵野線)よりバス10分、東松戸駅(北総線)よりバス15分

- 大学合格実績(過去3年間) 東京工業、東京学芸、東京藝術、千葉、埼玉、茨城、山梨、琉球、千葉県立保健医療、慶應義塾、早稲田、上智、東京理科、学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政、昭和薬科、明治薬科、立命館、東京女子、日本女子など